



令和6年度

## 文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

群馬県前橋市

自治体名：群馬県前橋市

担当課名：学校教育課

電話番号：027-898-5864

# 1.自治体の基本情報

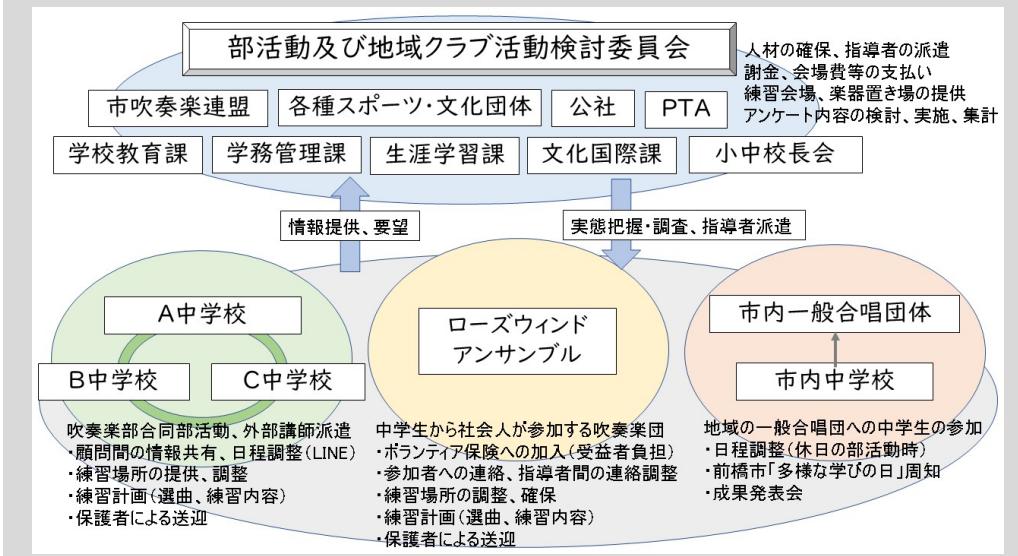


基本情報		地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題
面積	311.59 km <sup>2</sup>	市内 20 校中、19 校に吹奏楽部がある。各種コンクールや大会の他、定期演奏会や地域のイベントなどの演奏を行う中学校もあり、県内でも比較的吹奏楽活動が盛んな地域である。
人口	336,154 人	合唱部を置くのは市内 1 校のみであり、校内のイベント等で演奏を行っている。
公立中学校数	20 校	課題としては、少子化等に伴う部員数の減少により、活動が制限されたり、発表の機会が十分に得られなかつたりする状況が増えつつある。また、吹奏楽や合唱の演奏や指導の経験がない顧問が多くなり、経験豊富な顧問との二極化が進んでいる。
公立中学校生徒数	7,592 人	部員数の減少で各種コンクールや演奏会の実施が難しい学校や、複数校合同での活動を希望している学校に対して、
部活動数	326 部活	合同での活動が実践できるように周知し、連絡・調整、マッチングを行う。また、前橋市吹奏楽連盟等と連携し、地域の教員OBや吹奏楽及び合唱指導経験者などの人材を発掘、確保し、休日の指導を望まない教員に対して指導者を派遣できるような体制を整える必要がある。また、地域で活動する一般吹奏楽団体や合唱団体に中学生が参加する機会を確保し、地域移行につながる活動の素地を整えていく必要がある。
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み	<b>【課題】</b> 吹奏楽の合同活動を支援する必要がある。 指導を望まない教員に対して指導者を派遣する体制を整える必要がある。 部活動休止日の週休日に、生徒が文化活動を行う場を確保する必要がある。
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済み	

## 2. 実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・学校教育課…生徒や保護者、学校への意向調査、指導者の調整・連絡  
検討委員会の開催、「中学生・多様な学びの日」の呼びかけ
- ・学務管理課…教員の兼職兼業に関すること
- ・生涯学習課…活動場所に関すること

##### ◎首長部局

- ・文化国際課…人材確保に関すること、活動場所に関すること  
(・スポーツ課…スポーツに関すること)

### 年間の事業スケジュール

- 令和6年 5月 第1回情報交換会
- 令和6年 6月 第1回検討委員会
- 令和6年 7月 第2回情報交換会
- 令和6年 8月 第2回検討委員会
- 令和6年10月 第3回情報交換会
- 令和6年11月 第3回検討委員会
- 令和6年11月 一般合唱団との交流
- 令和6年12月 3校合同練習会
- 令和7年 1月 ローズウインドアンサンブル発表会
- 令和7年 1月 第4回情報交換会
- 令和7年 2月 第4回検討委員会

## 2. 実証内容と成果



### 地域文化クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関するこ

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2クラブ
全体の指導者数	1人	全体の運営スタッフ数	若干名

#### ②各活動に関するこ

活動名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
市内中学校による合同吹奏楽活動	地域連携・複数校	吹奏楽	年6回	平日放課後 休日午前	35名	令和6年 11月～ 12月	みづき中学校	1人	1人	なし	大会参加なし
ローズウインドアンサンブル	地域移行・団体等運営型	吹奏楽	月2回程度	土日	およそ 100名 (日により 異なる)	令和6年 9月～ 令和7年 3月	富士見中学校 市立前橋高校 等	7人	3人	練習1回 500円 本番1回 1000円	大会参加なし
地域の一般合唱団への中学生の参加	地域移行・団体等運営型	合唱	月2回程度	土日	およそ 20名	年中	前橋市中央公民館 等	1人	1人	月会費	一般団体として

- 合同吹奏楽活動では、市内中学校3校（拠点校1校）に協力を仰ぎ、外部指導者を派遣する活動を行った。
- ローズウインドアンサンブルへは、中間発表会の会場借上げ、楽器運搬費の補助を行った。
- 地域の一般合唱団への中学生の参加については、「前橋市中学生・多様な学びの日」の一環として、中学生に広く周知を行い、参加者を募集した。

## 2. 実証内容と成果

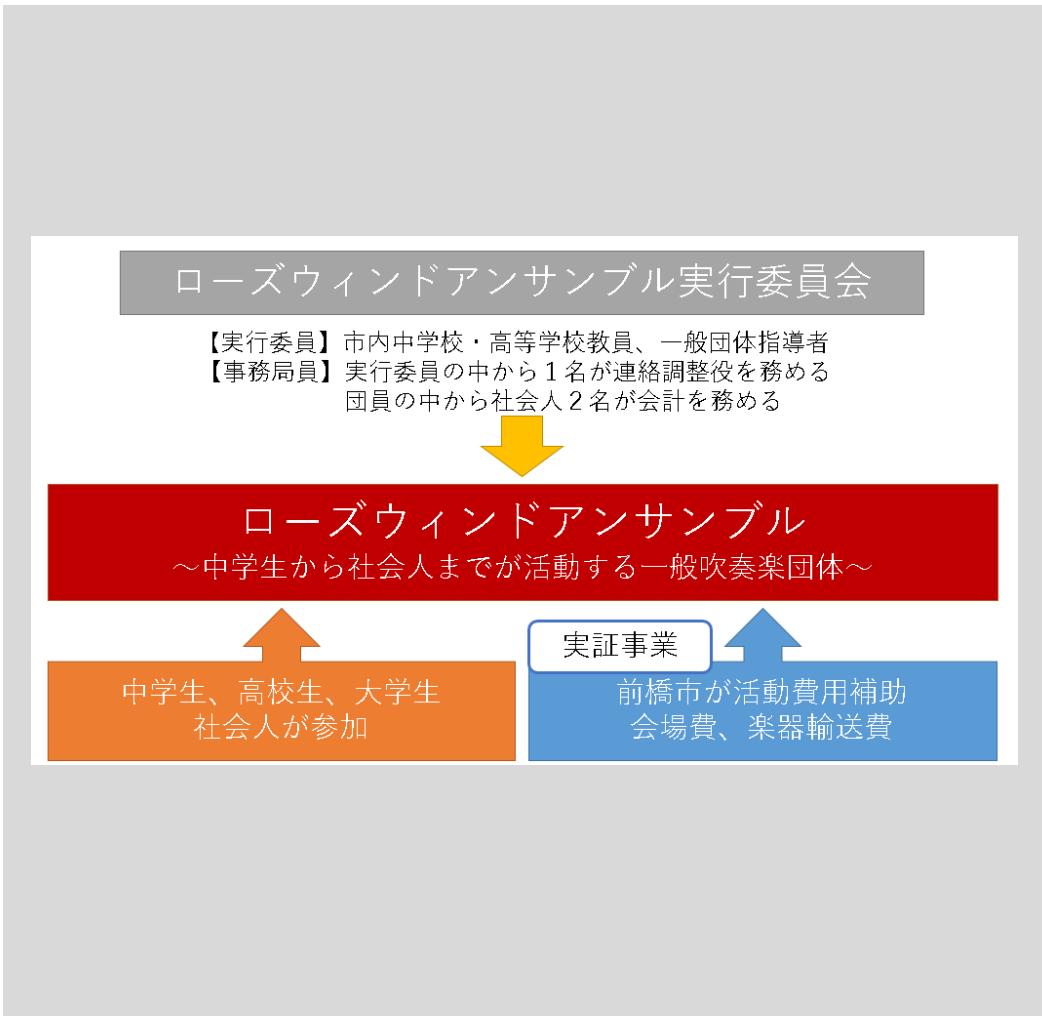


### 主な取組例

#### ●ローズウインドアンサンブル 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	吹奏楽
運営団体名	ローズウインドアンサンブル
期間と日数	令和6年9月～令和7年3月 月2回程度
指導者の主な属性	中学校、高等学校教員
活動場所	富士見中学校、市立前橋高等学校 前橋市民文化会館 等
主な移動手段	自転車、保護者による送迎
1人あたりの参加会費等	練習1回 500円 本番1回 1000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



## 2. 実証内容と成果

### ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

スポーツ・文化の各種団体の代表者や学識経験者、校長会、PTA、行政関係各課等からなる検討委員会を組織し、本市の部活動地域移行の方向性について助言を得る。  
また、この検討委員会を開催するにあたっては、事前に学校から情報を得るため、情報交換会を開催することとした。  
さらに、今年度より学校教育課内に専門員が配置された。

##### 取組の成果

検討委員会各回の主な協議事項を示す。  
**第1回検討委員会**  
(1) 地域クラブ活動の受け皿と指導者の確保について（まえばしスポーツクラブ指導者登録・団体登録）  
**第2回検討委員会**  
(1) 「まえばしスポーツクラブ」における団体・指導者登録について  
(2) 学校の施設利用について  
(3) 文化部の地域移行に関する課題について、吹奏楽クラブの指導者について  
(4) 学校部活動から地域クラブ活動への移行に向けた推進計画(案)について  
**第3回検討委員会**  
(1) 地域クラブ立ち上げの依頼及び休日の学校施設利用について  
(2) 令和7年度の部活動を行わない週休日について  
(3) 地域クラブ活動の財源確保と保護者の負担軽減について  
(4) 地域移行に伴い予想される課題について  
(5) 学校部活動から地域クラブ活動への移行に向けた推進計画の策定について  
**第4回検討委員会**  
(1) 令和8年度以降の部活動を休止する週休日について  
(2) 令和7年度の検討委員会及び情報交換会について

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- 検討委員会の実施（日程調整、派遣依頼の送付、資料作成、議事録作成）
- 委託団体との情報交換
- 学校や業者、関係各課との連絡調整

##### 今後の課題と対応方針

運動部については団体登録や指導者登録について大きな進捗が見られたが、文化部については課題が見出された状態にとどまっている。吹奏楽の指導者確保や練習会場、その他の文化部の地域移行についても、検討委員会の助言を得ながら準備を進めていく必要がある。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

オ：内容の充実

イ：指導者の質の保障・量の確保

カ：参加費用負担の支援等

ウ：関係団体・分野との連携強化

キ：学校施設の活用等

エ：面的・広域的な取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

○「市内中学校による合同吹奏楽活動」では、昨年度に引き続き、長年本市で吹奏楽の指導に当たってきた教員OBを外部指導者として招いた。

○検討委員会においては、前橋市吹奏楽連盟と連携し、指導者の質・量の確保を行っていくことが確認された。

(今後、吹奏楽指導を望まない教員の学校における吹奏楽クラブ活動には、前橋市吹奏楽連盟から指導者を派遣するようなシステムを構築していく必要がある。)

##### 登録者属性

教員OB

##### 種目

吹奏楽

##### 取組の成果

「市内中学校における合同吹奏楽活動」

参加した中学生を対象としたアンケートの結果、「講師の先生から専門的な指導を受けられたので、わかりやすかった。」や「講師の先生に自分の演奏の課題だけではなく、それを改善するための練習方法も教えていただけてよかったです。」などの感想を得た。

参加したほぼすべての生徒が、外部指導者の指導について肯定的に捉えていることが分かった。

拠点校となる中学校の吹奏楽部顧問は、外部指導者が指導に当たる時間、三者面談や成績処理等の業務を計4時間行うことができた。また、合同吹奏楽活動では、市内3校の吹奏楽部顧問のうち、1校の顧問は練習中に練習会場を離れて、他の業務にあたる姿が見られた。指導者の質が担保される場合、吹奏楽クラブ活動を安心して任せられる一方で、会場が学校施設のため、鍵や安全管理上、会場となる中学校教員は出勤せざるを得ない状況である。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

部活動の地域移行に関する検討委員会において、地域移行に向けた情報交換と協議を行った。（令和6年度4回）

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

合同吹奏楽活動では、前橋市立みづき中学校を拠点として、外部指導者の派遣を行った。（令和6年度6回）

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

・合同吹奏楽活動では、大人数で活動することで活動内容や演奏機会が広がり、生徒にとって様々な体験をすることができた。また、教員OBや指導経験者などから指導を受けることで、生徒の演奏技能や音楽性が高まり、充実した活動を行うことができた。  
・ローズウインドアンサンブルでは、社会人、大学生、高校生、中学生が一緒に活動し、世代を超えた交流をすることで、生徒のコミュニケーション力の向上も見られた。

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 今後の方向性

今後、地域連携・地域移行の推進に向けて、検討委員会にて参加費用負担について検討することが考えられる。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

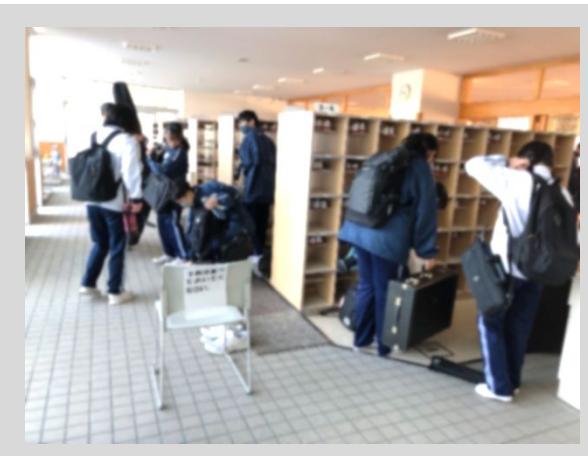
「市内中学校による合同吹奏楽活動」では、拠点校となる中学校を会場として活動を行った。また「ローズウインドオーケストラ」では、市内中学校・高等学校のほかに、文化施設を利用して中間発表会を行った。

特に、中学校を会場として利用する合同吹奏楽活動においては、講師や他校の生徒、保護者送迎の動線に注視し、今後の課題を探ることとした。

##### 取組の成果

参加者や保護者送迎の動線について把握することができた。

学校施設を使用する場合には、その学校に勤務する教員による鍵の管理が必要となる。また、他の学校の生徒が参加する場合には、立ち入ってほしくない場所（当該校の生徒の私物が置いてある教室や、教員室・校長室等）を明らかにして、普段使用している警備システムとは別の系統の警備システムを導入するなどして対応する必要が分かった。



##### 今後の課題と対応方針

新たな警備システム導入を検討するため、市内 2 つの中学校に協力を仰ぎ、学校教育課、教育施設課、警備業者による視察、見積もりを実施する。

令和 8 年度モデル校への導入を進める場合、令和 7 年度中にモデル校の選定や予算要求を行う必要がある。

## 2. 実証内容と成果①



### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ● 総括

検討委員会を組織し、スポーツ・文化両面で助言を得ながら地域移行を推進することができた。スポーツは、指導者登録、団体登録と進捗が見られたが、文化面では現状の課題の把握にとどまった。

文化面、特に吹奏楽の活動は練習場所の問題、楽器輸送の問題が大きい。練習場所については、検討委員会の場において、「基本的に活動の場を学校とすること」という共通理解がなされた。これにより練習場所や楽器輸送の問題の多くは解決されたが、一方では中学校教員以外の指導者が休日に学校の鍵を開けて入って指導し、すべてのメンバーが退出後に施錠することになる、という新たな課題が出てきた。このことについては、休日のみ指導する地域の指導者が管理できるような警備システムの在り方を模索する必要があろう。

また、学校から借りている自分の楽器を万が一破損してしまった際に必要なサポートについても大きな課題の一つである。（練習中の怪我や、相手の楽器を破損させてしまった場合には、スポーツ安全保険で賄えることを確認している）

#### ● 成果の評価

##### ○「市内中学生による合同吹奏楽活動」

講師による指導や大人数での合奏については、多くの肯定的な意見を得ている。当該中学校教員による管理がなくとも、校舎の鍵・警備システムが運用できるよう改善策を探る必要がある。また楽器を破損した際の保険についても検討が必要である。

##### ○「ローズウインドアンサンブル」

中学生から社会人までがそれぞれの価値を見出しながら活動を楽しむ様子が見られた。引き続き、部活動のない週休日の吹奏楽活動の受け皿としての活動を支援していきたい。

##### ○「一般合唱団への中学生の参加」

中学生の参加数はごく少ないものであった。中学生への周知が遅かったことが一因であると考える。

#### ● 今後に向けて

##### ○ 吹奏楽活動について

各校の吹奏楽部活動について、まずは休日から地域クラブ活動へ移行することとする。保護者会等が母体となり、吹奏楽部顧問を地域の指導者として招く形での活動となるだろう。また、休日の指導を望まない場合には、前橋市吹奏楽連盟の協力を得て、指導者を派遣する形を整えたい。

活動場所は学校を中心とするが、新たな警備システムの導入や楽器を含めた保険やサポートの在り方について検討していく必要がある。

## 2. 実証内容と成果②



### アンケート結果・参加者の声

#### ● 参加者の声

##### 中学生（市内中学校による合同吹奏楽活動）

講師の先生からは、音の厚みや音域、音色について丁寧に教えていただいて分かりやすかったし、分かってうれしかった。少人数で演奏するよりも、大人数で演奏した方が楽しいと感じた。

##### 中学生（市内中学校による合同吹奏楽活動）

自分の学校ではフルートを一人で演奏しているので、複数の人と演奏できたのは貴重な体験だった。合奏の人数も多く、音を合わせたり、音の厚みを感じたりして、完成度の高い演奏を目指せたことがよかったです。

##### 中学生（市内中学校による合同吹奏楽活動）

初めて会う人ばかりで緊張していつも通りの演奏ができないところはあるけれど、講師の先生の説明が分かりやすく、自分の課題が分かり、その直し方も教えてもらえたことがよかったです。

##### 中学校教員（市内中学校による合同吹奏楽活動）

生徒は大人数の中で刺激を受けながら、講師の専門的な指導を受けられてよかったです。楽器の輸送等の課題はあるが、こういった取組を定期的に継続していくとよい感じている。

##### 高校生（ローズウインドアンサンブル）

社会人の隣で演奏することで、毎回よい刺激を受けている。細かな演奏方法について伺っても、いつも丁寧に教えていただけるので、大変ありがたいと思っている。

##### 高校生（ローズウインドアンサンブル）

中学生と一緒に活動して、練習会場やホールの準備の仕方、演奏に取り組む態度、具体的な演奏方法について、一緒に活動しながら伝えられているので、「地域の活動」に取り組んでいるという実感がある。

##### 高校生（ローズウインドアンサンブル）

自校の吹奏楽部だけでは取り組むことが困難な規模の大きな曲に取り組むことができて嬉しい。先日は作曲家の方にレッスンしていただき、曲に対する理解を十分に深めて演奏することができ、貴重な体験となつた。

##### 指導者（ローズウインドアンサンブル）

中学生から社会人までのメンバーがコミュニケーションをとりながら、互いによい刺激を受けて活動している。社会人や高校生のほうから中学生に声をかけて、演奏方法や取り組む態度を伝えている姿が印象的である。

## 2. 実証内容と成果③



### 広報資料

本市では、「中学生・多様な学びの日」として、中学生が部活動を行わない週休日を設定している。中学生の多様な活動をサポートできるよう、ホームページにおいてスポーツ・文化に関わる情報を広く周知している。

**中学生・多様な学びの日イベント**

### 群馬おきりこみ合唱団 合唱交流会

中学生のみなさん、こんにちは！  
私たちは毎週土曜日、学生から社会人まで集まって合唱を楽しんでいる「群馬おきりこみ合唱団」です。  
皆さんが知っている「上を向いて歩こう」などの曲を、私たちと一緒に歌って楽しみましょう！

日 時 令和6年11月9日（土）

時 間 14:00～16:00  
(13:50までにお越しください。)

場 所 前橋アラザ元気Z1 407スタジオ  
(事前予約は必要ありません。直接お越しください。)

練習曲目 「上を向いて歩こう」「ともだち」他  
(楽譜は、こちらで準備しておきます。)

持 ち 物 飲み物等

連絡先

指 対 指導者 群馬おきりこみ合唱団 常任指導者 並木 琢臣  
群馬おきりこみ合唱団 団員

【中学生・多様な学びの日チラシ】

○前橋市 子どもたちのための大改革

### 学校部活動から 地域クラブ活動へ

前橋市では国や県の方針を受け、学校ごとの「部活動」から、より広範囲な地域での「地域クラブ活動」への移行を進めています。

「地域クラブ活動」に移行すると・・・

- ★ 学校部活動になかった自分のやりたい活動ができるようになります！
- ★ 地域に住む優れた指導者（教員を含む）から、専門的な指導を受けられます！
- ★ 他の中学校生徒との交流や、地域住民との世代間交流が促進されます！
- ★ 活動時間や活動日を柔軟に選択できるようになります！
- ★ 活動日や活動時間が分散されるので、別のクラブ活動や学習に充てられる時間が増えます！
- ★ 生徒にも先生にも学校生活にゆとりが生まれ、教育の質が向上します！

地域における持続可能なスポーツや芸術文化活動への転換のため、  
みなさまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします！

前橋市教育委員会学校教育課 電話：027-898-5864 mail：5821.d41@city.maebashi.ed.jp

※国・県の方針は、過日配布された冊のリーフレットをご覧ください。

今年度はリーフレット「学校部活動から地域クラブ活動へ」を作成し、市内小中学生のタブレットにデータ配信を行うとともに、地域移行に関わるホームページを開設し、情報発信に努めている。

学校部活動から地域クラブ活動へ

前橋市では、地域クラブ活動への移行を段階的に進めるため、次のような取組を進めていく予定です。  
また、それらの情報は継続的に発信していきます。

移行への道すじ

今

- ① 各中学校単位で活動
- ② 管理運営の責任者は校長先生
- ③ 指導者は各校の先生（職員）
- ④ 平日・休日も活動
- ⑤ 学校単位で中体連の大会（運動部）、コンクール等に参加

R6年度～

- ・2～4月の第2週休日（土日）の部活動を休止
- ・中学生の多様な学びの機会を提供（R6年度も継続）

R6年度～

- ・10月～12月の第2週休日（土日）の部活動を休止
- ・1月～3月の第2／第4週休日（土日）の部活動を休止
- ・地域団体等での活動をサポート（施設、人材等）
- ・団体登録開始、指導者登録開始（まちづくり公社）

R7年度～

- ・複数の部活動で休日の部活動を休止
- ・地域クラブ運営組織の立ち上げをサポート

R8年度～

- ・休日の部活動をおむね地域クラブ活動に移行
- ・平日の部活動も可能な範囲で地域移行を試行

将来

学校部活動（学校体育・文化・芸術活動）

① 各中学校単位で活動

② 管理運営の責任者は校長先生

③ 指導者は各校の先生（職員）

④ 平日・休日も活動

⑤ 学校単位で中体連の大会（運動部）、コンクール等に参加

学校部活動から地域クラブ活動への移行期間

R5年度～

- ・2～4月の第2週休日（土日）の部活動を休止
- ・中学生の多様な学びの機会を提供（R6年度も継続）

R6年度～

- ・10月～12月の第2週休日（土日）の部活動を休止
- ・1月～3月の第2／第4週休日（土日）の部活動を休止
- ・地域団体等での活動をサポート（施設、人材等）
- ・団体登録開始、指導者登録開始（まちづくり公社）

R7年度～

- ・複数の部活動で休日の部活動を休止
- ・地域クラブ運営組織の立ち上げをサポート

R8年度～

- ・休日の部活動をおむね地域クラブ活動に移行
- ・平日の部活動も可能な範囲で地域移行を試行

地域クラブ活動

- ① 学校区にとらわれない地域クラブで活動
- ② 管理運営の責任者は地域クラブ代表者
- ③ 指導者は地域クラブスタッフ
- ④ 平日・休日とも地域クラブで活動（実情に応じて段階的に移行）
- ⑤ 地域クラブとして競技協会の主催する大会（運動クラブ、コンクール等に参加）
- ⑥ 地域の学校や公共施設、専門的設備のある施設等を利用

連携・協力

【前橋市リーフレット表面】

【前橋市リーフレット裏面】

## 2. 実証内容と成果④



参考資料（活動写真）



【市内中学校による合同吹奏楽活動】



【市内中学校による合同吹奏楽活動】



【ローズウインドアンサンブルの活動】



【ローズウインドアンサンブルの活動】

## 2. 実証内容と成果



### 地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

#### 公益財団法人前橋市まちづくり公社「中学生スポーツ活動推進モデル事業」について

令和5年（6月）

- ①前橋市まちづくり公社より、事業実施についての説明

令和5年（10月）

- ②まちづくり公社が各競技団体に指導依頼・調整

- ③募集要項の作成と各校への配布

- ④事業の実施

●運営主体

公益財団法人前橋市まちづくり公社

●経過

- ①まちづくり公社より、部活動の地域連携・地域移行に関して、「中学生の活動の場」として、「中学生スポーツ活動推進モデル事業」を実施したい旨の依頼があった。そのため、市教育委員会と打ち合わせを行い、まちづくり公社のビジョンについて共有した。
- ②まちづくり公社が、事業実施にあたって各競技団体に協力を依頼し、どのような種目で事業ができるか調整を起こった。
- ③協力を依頼できる団体が決まり、参加費や保険等の内容も固まったことから、募集要項を作成し、それを市教育委員会を通して各中学校へ配布・周知した。要項作成の際には、市教育委員会を後援とし、市中体連を協力として学校現場も後押しをした。
- ④令和5年10月より、令和6年3月までを事業実施期間とし、活動に取り組んでいる。

※前橋市地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセスについては、地域連携・地域移行の推進に向けて、上記の「中学生スポーツ活動推進モデル事業」をモデルとして、検討委員会にて検討することが考えられる。

### 3.今後の方向性



#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ\*

##### 前橋市 部活動地域連携・地域移行 ロードマップについて

現在、地域連携・地域移行の推進に向けて、検討委員会にてロードマップを検討中。国や県の動向に準じて適宜修正を加えている途中である。